

■ 用語解説

■ あ行

アイドリングストップ

自動車やオートバイが駐停車時などにエンジン停止をすること。燃料節約と排気ガス削減の効果がある。

エコアクション21

中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための登録制度。

温室効果ガス

地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより地表を暖める働きがある気体の総称。産業革命以降、人間活動により大気中の温室効果ガスの濃度が急激に上昇していることから、地表の温度が上昇している。京都議定書では、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン類（HFC）、パーフルオロカーボン類（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）の6種類を削減対象の温室効果ガスとしている。国内排出量の90%以上が二酸化炭素である。

■ か行

環境基準

人の健康を保護し、生活環境を良好に保つため、維持されることが望ましい基準。人の健康等を維持するための最低限度としての基準ではなく、より積極的に維持されることが望ましい基準であり、行政上の政策目標である。大気汚染、水質汚濁（地下水を含む）、土壌汚染、騒音、ダイオキシン類について定められている。

カーボン・オフセット

日常生活や経済活動において避けることのできないCO₂などの温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るように削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。

■ さ行

再生可能エネルギー

自然界で起こる現象から取り出すことができ、一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源のこと。太陽光、太陽熱、風力、地熱、水力、バイオマス、波力などがある。

資源化率

廃棄物（区収集ごみ量と資源回収量の合計）に対する資源回収量の割合。
資源化率＝資源回収量／（区収集ごみ量＋資源回収量）

循環型社会

3R（リユース・リデュース・リサイクル）の徹底により実現される、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が出来る限り低減される社会。

新資源回収事業

平成20年10月より実施されている豊島区の資源回収システム。資源回収の回数を従来の週1回から週2回に倍増するとともに、廃プラスチックサーマルリサイクルを導入した。

新電力（特定規模電気事業者）

電力小売りが自由化されている、契約電力が50kW以上の需要家に対して、一般電気事業者（東京電力など地域の電力会社10社）以外に電力供給を行う事業者。

サーマルリサイクル

廃棄物から熱エネルギーを回収すること。ごみの焼却から得られる熱は、ごみ発電をはじめ、施設内の暖房、給湯、温水プール等に利用される。

■た行

低炭素社会

温室効果ガスとされるCO₂の排出が抑制される社会。

デマンド監視装置

設定した電力量を超えないように、常に電力の使用状況を監視する装置。基本料金の低減や電力使用量の削減につながるとされる。

都内中小クレジット

都内の中小規模事業所が省エネ対策の実施により削減した温室効果ガスの量について、東京都の排出量取引制度に基づいて認証されたもの。

■な行

二酸化炭素 (CO₂) 排出係数

単位量 (kWh、立方メートルなど) あたりのエネルギーをつくる際に排出されるCO₂量を示す数値。

■は行

排出量取引制度

排出主体ごとに排出量をあらかじめ設定し (排出枠、排出目標、排出権等と呼ばれる)、実際の排出量が排出枠等を超過する排出主体が、逆に実際の排出量が排出枠等を下回る他の排出者から、下回っている分の一部を、対価を支払う等により入手して自らの削減量とみなすことを認め、全体の排出量を制御する仕組み。

パッシブデザイン

エアコンなどの機械設備に頼りすぎることなく、太陽光や風などの自然エネルギーを最大限に生かし、快適な暮らしを実現する手法。

pg-TEQ/m³

ダイオキシン類は、毒性の強さがそれぞれ異なっており、「2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン」がダイオキシン類の仲間の中で最も毒性の強いことが知られている。そのため、ダイオキシン類全体の毒性を評価するために、「2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン」の毒性に換算して合計した影響を考えている。TEQは、毒性を換算していることを表し、1 pg-TEQ/m³は、大気中1立方メートル (1 mの立方体) に1兆分の1グラムの「2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン」の毒性に換算したダイオキシン類が含まれていることを示している。

■ま行

モザイカルチャー

人・動物・風景などの形を金属フレームで作り、土を入れ植物を植え込んだ立体花壇のこと。モザイカルチャーは「モザイク」と「カルチャー」の造語。

■ら行

緑被率

ある地域における樹林地・草地・農耕地・宅地内の緑 (屋上緑化を含む)、街路樹などの緑で被われた土地の面積が、その地域全体の面積に占める割合。